

# 概要

## 基礎レベルの拡張

バージョン1.0

---

国際ソフトウェアテスト資格委員会

---



著作権に関する通知

この文書は、出典を明記すれば、全体をコピーしたり、抜粋したりすることができます。

## 概要

### 基礎レベル拡張 - アジャイルテスター

著作権 © International Software Testing Qualifications Board (以下、ISTQB® と呼びます)。

## 改訂履歴

バージョン	日付	備考
0.1	2013年6月18日	初期バージョン
0.2	2013年7月23日	WGが検討し確認した
0.3	2013年11月6日	修正された人口と図
0.7	2013年12月11日	修正された事業成果と章の一致
0.8	2013年12月20日	0.7に関するワーキンググループのアップデート
1.0	2014年5月31日	Agile Extension の GA リリース

## 目次

改訂履歴 .....	3
目次 .....	4
1. 基礎レベル拡張機能の紹介 .....	6
2. Foundation Level Agile Tester Extension の概要 .....	7
2.1 対象読者 .....	7
2.2 テスターのキャリアパス .....	7
2.3 学習目標 .....	7
2.4 入学要件 .....	8
2.5 コースの構造と期間 .....	8
2.6 最新の状態に保つ .....	9
3. 基礎レベル拡張の概要 - アジャイルテスターシラバス .....	10
3.1 ビジネス成果 .....	10
3.2 コンテンツ .....	10
4. 参考文献 .....	12
4.1 商標 .....	12
4.2 ドキュメントとウェブサイト .....	12

## 謝辞

このドキュメントは、国際ソフトウェアテスト資格委員会の基礎レベルワーキンググループのチームによって作成されました。

Agile Extension チームは、提案と意見を提供してくれたレビュー チームと National Boards に感謝します。

基礎レベルの Agile Extension シラバスが完成した時点で、Agile Extension ワーキンググループのメンバーは次のとおりでした: Rex Black (議長)、Bertrand Cornanguer (副議長)、Gerry Coleman (学習目標リーダー)、Debra Friedenberg (試験リーダー)、Alon Linetzki (ビジネス成果およびマーケティング リーダー)、Tauhida Parveen (編集者)、および Leo van der Aalst (開発リーダー)。

著者: レックス ブラック、アンダース クラッソン、ジェリー コールマン、ベルトラン コルナンゲール、イシュトヴァン フォルガクス、アロン リネツキ、ティロリンツ、レオ ファンデル アールスト、マリー ウォルシュ、ステファン ウェーバー。

内部査読者: メッテ・ブルーン・ペダーセン、クリストファー・クレメンツ、アレッサンドロ・コリーノ、デブラ・フリーデンベルク、カリ・カッコン、ベアタ・カルピンスカ、サミー・コルル、ジェニファー・レジャー、トーマス・ミュラー、トウーラ・ペコネン、マイレ・ポストーマ、ガボール・プハラ、ロイド・ローデン、マルコ・ライトコネン、モニカ・シュテックライン=オルセン、ロバートトレフニー、クリス・ヴァン・パエル、エリック・ヴァン・ヴィーネンダール。

チームは、Foundation Agile Extension シラバスのレビュー、コメント、投票にご協力いただいた、各国の委員会および Agile 専門家コミュニティの以下の方々にも感謝の意を表します: Dani Almog、Richard Berns、Stephen Bird、Monika Bögge、Afeng Chai、Josephine Crawford、Tibor Csöndes、Huba Demeter、Arnaud Foucal、Cyril Fumery、Kobi Halperin、Inga Hansen、Hanne Hinz、Jidong Hu、Phill Isles、Shirley Itah、Martin Klonk、Kjell Lauren、Igal Levi、Rik Marselis、Johan Meivert、Armin Metzger、Peter Morgan、Ninna Morin、Ingvar Nordstrom、Chris O'Dea、Klaus Olsen、Ismo Paukamainen、Nathalie Phung、Helmut Pichler、Salvatore Reale、Stuart Reid、Hans Rombouts、Petriサイリノジャ、ソイル・サイニオ、ラース=エリック・サンドバーク、ダカール・シャローム、ジャン・シェン、マルコ・ソリアーニ、ルクジャン・スタップ、ヤロン・ツベリー、サビーヌ・ウーデ、ステファニー・ウルリッヒ、トミ・ヴァリマキ、ジュリアン・ヴァン・デ・ラール、マルニックス・ヴァン・デン・エント、アントニオ・ヴィエイラ・メロ、ウェンイエ・シュー、エステル・ザパール、ウェンチアン鄭氏、ピーター・ジメラー氏、ステバン・ジバノビッチ氏、テリー・ズオ氏。

この文書は、2014 年 5 月 31 日の ISTQB® 総会で正式に承認され、リリースされました。

## 1. 基礎レベルの拡張機能の紹介

この概要ドキュメントは、ISTQB Foundation Level Extensions に関心があり、主要な原則の概要と個々の拡張シラバスの概要を知りたいすべての方を対象としています。

ISTQBは、Foundation Levelに導入される追加拡張機能や既存の拡張機能の大幅な変更を反映するため、このドキュメントを随時更新します。更新されたドキュメントはISTQBのウェブサイトで公開されます。

ISTQB FoundationレベルおよびAdvancedレベルのシラバスは既に定義され、既に市場に出回っています。市場における技術や方法論の変化に伴い、新たなトピックが登場し、多くの場合、ISTQBプログラムに新たなExpertレベルのシラバスとして組み込まれています。しかし、すべてのトピックがExpertレベルに適しているわけではありません。そのため、ISTQBプログラムを拡張し、新規または更新された知識を組み込むために、Foundationレベルの拡張シラバスが策定されています。新たな拡張については、ISTQBによって定期的に議論され、導入されます。Advancedレベルの拡張も策定される可能性がありますが、これは本書の範囲外です。

以下の Foundation Level Extension シラバスが公開されました:

- アジャイルテスター

この文書では、Foundation Level Extensionの各シラバスの概要と、関連するビジネス成果について説明しています。ビジネス成果は、特定の分野（例：アジャイルテスター）におけるFoundation Level Extension認定取得者に期待される成果を示し、このレベルで特定のテストスキルの習得を検討している企業にとってのメリットを概説しています。

## 2. 基礎レベルのアジャイルテスター拡張機能の紹介

Foundation Level Extension – Agile Tester 認定資格は、アジャイル環境で業務に携わるプロフェッショナル向けに設計されています。また、近い将来にアジャイル手法の導入を計画している、あるいは導入を計画している企業で働いているプロフェッショナルにも適しています。この認定資格は、それぞれの職務に特有のアジャイル活動、役割、手法、方法論を習得したい方にとって有利です。

### 2.1 対象読者

Foundation Level Extension – Agile Tester 資格は、主に次の4つの専門家グループを対象としています。

1. 従来の方法で徹底的なテスト経験を積み、アジャイル テスター 認定を取得したいプロフェッショナル。
2. テストの専門職としてスタートしたばかりで、基礎レベルの認定を受けており、アジャイル環境におけるテスターの役割について詳しく知りたいと考えているジュニアプロフェッショナルテスター。
3. テストに比較的慣れていないが、アジャイル プロジェクトでの日常業務でテストのアプローチ、方法、テクニックを実装する必要がある専門家。
4. 自分の役割（ユニットテストを含む）に精通しており、アジャイル プロジェクトのすべてのレベルでテストを実行および管理する方法についてさらに理解と知識を必要とするプロフェッショナル。

これらの専門家には、テスター、テストアナリスト、テストエンジニア、テストコンサルタント、テストマネージャー、ユーザー受け入れテスター、ソフトウェア開発者などの役割を担う人々が含まれます。

この Foundation Level Extension – Agile Tester 認定は、プロジェクト マネージャー、品質マネージャー、ソフトウェア開発マネージャー、ビジネス アナリスト、IT ディレクター、経営コンサルタントなど、Agile の世界におけるソフトウェアテストについてより深く理解したい人にも適しています。

### 2.2 テスターのキャリアパス

Agile Tester Extensionは、Foundation Levelを基盤として、プロフェッショナルテスターのキャリアパスの定義をサポートします。Agile Tester認定資格を取得した人は、Foundation Levelで習得したテストに関する幅広い理解をさらに深め、Agileプロジェクトにおいてプロフェッショナルテスターとして効果的に業務を遂行できるようになります。

ISTQB Foundation Level Extension – Agile Tester 認定資格を保有している人は、Certified Tester Foundation Levelの頭字語 CTFL-AT を使用できます。

### 2.3 学習目標

一般的に、基礎レベルのシラバスはK1 レベルで試験可能です。つまり、受験者は基礎レベルのシラバスに記載されている用語と概念を認識し、記憶し、思い出すことができます。

さらに、基礎レベルのカリキュラムのすべての学習目標は、拡張試験で同じ K レベルで試験を受けることができます。

ただし、各拡張レベルの試験は、その拡張シラバスに定められた学習目標に重点を置いています。K1、K2、K3レベルの関連する学習目標は、各拡張シラバスの各章の冒頭に記載されています。

## 2.4 入場要件

Foundation Level Extension – Agile Tester 試験に参加するには、受験者は ISTQB Foundation Level 認定を取得している必要があります。

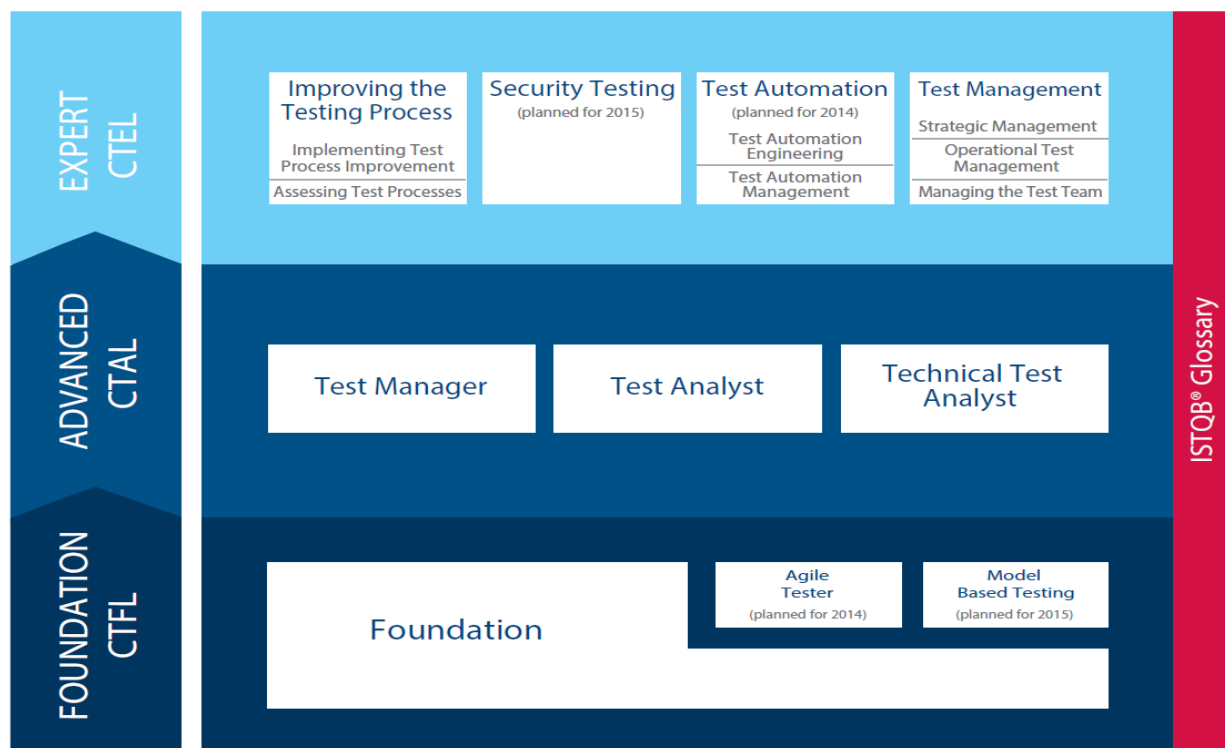
## 2.5 コースの構造と期間

Foundation Level Extension – Agile Tester のシラバスには、Foundation Level のシラバスと共有される要素や共通要素はありません。

カリキュラムは以下の最低日数で教える必要があります。

シラバス	日数
ベースライン：基盤	3
拡張機能: アジャイルテスター	2

次の図は、Agile Tester Extension の構造と Foundation Level との関係を示しています。





## 2.6 最新の状態に保つ

ソフトウェア業界は急速に変化しています。こうした変化に対応し、関係者に関連性の高い最新情報を提供するため、ISTQBワーキンググループは[www.istqb.org](http://www.istqb.org)ウェブサイトにて、関連文書、標準規格の変更、業界における新たな動向へのリンクを設けています。これらの情報は、本シラバスでは試験の対象外です。

## 3.基礎レベル拡張の概要 - アジャイルテスターシラバス

### 3.1 ビジネス成果

このセクションでは、Foundation Level Extension – Agile Tester 認定を取得した候補者に期待されるビジネス成果を示します。

アジャイルテスターは次のことができます...

- AFM1 アジャイル ソフトウェア開発の原則と基本的なプラクティスを理解した上で、部門横断的なアジャイル チームで協力します。
- AFM2 既存のテスト経験と知識をアジャイルの価値と原則に適合させます。
- AFM3 テスト関連のアクティビティの計画において Agile チームをサポートします。
- AFM4 アジャイル プロジェクトでのテストに関連する方法とテクニックを適用します。
- AFM5 Agile チームのテスト自動化活動を支援します。
- AFM6 必要に応じて、ビジネス関係者が理解可能かつテスト可能なユーザー ストーリー、シナリオ、要件、受け入れ基準を定義できるように支援します。
- AFM7 効果的なコミュニケーション スタイルとチャネルを使用して、他のチーム メンバーと協力し、情報を共有します。

一般的に、認定テスター基礎レベル - アジャイルテスターは、アジャイルチームおよび環境内で効果的に作業するために必要なスキルを習得していることが期待されます。

### 3.2 コンテンツ

#### 第1章 アジャイルソフトウェア開発

- テスターは、アジャイル宣言に基づいたアジャイル ソフトウェア開発の基本概念を覚えておく必要があります。
- テスターは、チーム全体のアプローチの利点と、早期かつ頻繁なフィードバックの利点を理解する必要があります。
- テスターはアジャイル ソフトウェア開発アプローチを思い出す必要があります。
- テスターは、開発者やビジネス担当者で協力して、テスト可能なユーザー ストーリーを作成する必要があります。
- テスターは、アジャイル プロジェクトにおけるプロセス改善のメカニズムとして振り返りをどのように活用できるかを理解する必要があります。
- テスターは継続的インテグレーションの使用と目的を理解する必要があります。
- テスターは、反復とリリース計画の違いと、テスターがこれらの各アクティビティでどのように価値を追加するかを理解する必要があります。

### 第2章：アジャイルテストの基本的な原則、実践、プロセス

- テスターは、アジャイル プロジェクトと非アジャイル プロジェクトのテスト アクティビティの違いを説明できる必要があります。
- テスターは、アジャイル プロジェクトで開発とテストのアクティビティがどのように統合されているかを説明できる必要があります。
- テスターは、アジャイル プロジェクトにおける独立したテストの役割を説明できる必要があります。
- テスターは、テストの進行状況や製品の品質など、アジャイル プロジェクトでのテストのステータスを伝えるために使用されるツールとテクニックについて説明できる必要があります。
- テスターは、複数の反復にわたってテストを展開するプロセスを説明し、アジャイル プロジェクトで回帰リスクを管理するためにテスト自動化が重要な理由を説明できる必要があります。
- テスターは、アジャイルチームにおけるテスターのスキル（人材、ドメイン、テスト）を理解する必要があります。
- す。また、アジャイルチームにおけるテスターの役割を理解できる必要があります。

### 第3章 アジャイルテストの方法、テクニック、ツール

- テスターは、テスト駆動開発、受け入れテスト駆動開発、および動作駆動開発の概念を思い出す必要があります。
- テスターはテストピラミッドの概念を思い出せる必要があります。
- テスターは、テストの象限と、テスト レベルおよびテスト タイプとの関係を要約できる必要があります。
- 特定のアジャイルプロジェクトにおいて、テスターはスクラムチームのテスターとして業務を遂行できる必要があります。また、アジャイルプロジェクト内の品質リスクを評価できる必要があります。
- テスターは、イテレーションの内容と品質リスクに基づいてテストの労力を見積もることができなければなりません。また、テスト活動を支援するために関連情報を解釈できる必要があります。
- テスターは、ビジネス関係者にテスト可能な受け入れ基準を定義する方法を説明できる必要があります。
- ユーザー ストーリーが与えられれば、テスターは受け入れテスト駆動開発のテスト ケースを作成できる必要があります。
- 機能的動作と非機能的動作の両方について、テスターは、指定されたユーザー ストーリーに基づいてブラック ボックス テスト設計手法を使用してテスト ケースを記述できる必要があります。
- テスターは、アジャイルプロジェクトのテストをサポートするために、探索的テストを実行できる必要があります。テスターは、テスターの目的やアジャイルプロジェクトにおける活動に応じて、利用可能な様々なツールを思い出すことができます。

## 4.参考文献

### 4.1 商標

このドキュメントでは、次の登録商標およびサービス マークが使用されています。

ISTQB®は、国際ソフトウェアテスト資格委員会の登録商標です。

### 4.2 文書とウェブサイト

#### 識別子

[ISTQB-Web]

#### 参照

国際ソフトウェアテスト資格委員会（ISTQB）のウェブサイト。最新のISTQB用語集とシラバスについては、このウェブサイトをご覧ください。(www.istqb.org)